

尾崎正直国政報告

～2023年上半期の歩み～

～第211回国会（常会）等における国政報告～



ご挨拶

私おぎき正直は、先の第211回国会（R5年1月23日～6月21日）において、内閣の一員である大臣政務官として初めて、関連法案の策定、国会提出、審議、成立との一連のプロセスに携わりました。国会審議を通じて法案が成立し、政策が実現する様を、担当者として直に体験するまたとない機会をいただいたところです。また、併せて、自民党における各種の部会、勉強会、議員連盟での活動を通じて、日々、地方創生、防災対策など各種の政策形成のために努力を重ね、大臣等への政策提言の取りまとめにも携わるなど、国会議員としての歩みをまた一步進めることができました。これもひとえに皆様からご支持をいただき、国会に送り出していただいたお陰と、心から感謝いたしております。

他方で、マイナンバーカードを巡る一連の諸問題については、皆様に数々のご不安、ご心配をおかけし、デジタル庁の大臣政務官として誠に申し訳なく思っております。私も、岸田総理の指示で立ち上がったマイナンバー総点検本部の本部長代理として、日々問題解決に邁進してきたところです。

また、4月に行われた統一地方選挙では、多くの皆様に大変にお世話になり、改めて心から御礼申し上げます。これから秋にかけて重要選挙が目白押しです。私も、皆様のご理解を得られるよう、街頭で、集会で、個別にと、様々にお訴えをして参ります。

国会議員としての経験はまだ2年弱に過ぎませんが、皆様からいただいた一票、一票の重みを忘れることなく、これからも全力を尽くしてまいります。今後とものご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

尾崎正直 拝

目次 2023年8月発行

1. デジタル大臣政務官兼内閣府大臣政務官として p.3
2. 自民党政務調査会・議員連盟・勉強会での活動 p.10
3. 党務にも引き続き参加 p.15
4. 県勢浮揚に向けて p.16
5. 選挙の度に街頭へ！ p.19
6. 週末には皆様の元へ！ p.20

1. デジタル大臣政務官兼内閣府大臣政務官として

大臣政務官に就任して1年。この間、デジタル庁等では、おおむね以下の様な仕事をして参りました！

①庁内での検討・打ち合わせ

・経営企画会議（幹部会）等で情報共有・方針決定

デジタル庁では、毎週1回、大臣、副大臣、幹部職員による経営企画会議が開かれます。庁全体の動きを把握するとともに、河野大臣とともに重要事項について協議・決定する貴重な場です。

・日々の打ち合わせ

各部局の皆さんとの打ち合わせも頻繁です。その回数は1月から7月末までで約120回。特に、法案関係、自治体DXについては、密に打ち合わせを行いました。比較的小さな役所だけに、やりとりもフランクです。

②大臣政務官として今国会（第211国会）での法案成立に尽力

今国会には、デジタル庁からは「マイナンバー法改正法案」「デジタル規制改革法案」を、また、消費者庁からは「景品表示法の改正案」等を提出し、お陰様で全法案の成立を見ることができました。私も政務官として、与党国体での法案説明、委員会（地方デジタルこども特別委員会、消費者問題特別委員会）の理事懇談会出席、各委員会での答弁に立ちました。

また、政務官として内閣委員会にも所属し、内閣府関連法案の審議にも参加しました。ほぼ毎週火曜日から金曜日まで、本会議やいずれかの委員会にて法案審議に携わったところです。



2月20日 衆議院 予算委員会 第一分科会にて答弁



3月30日 衆議院 消費者特別委員会にて答弁



4月14日 衆議院 厚生労働委員会にて答弁



4月21日 参議院 地方創生及びデジタル社会の形成等に関する特別委員会にて答弁

〈政策トピックス①〉 今国会で成立したデジタル規制改革法について

デジタル規制改革法は、社会のデジタル化を妨げるいわゆる「アナログ規制」の見直しを行う新法です。オンライン手続やドローンでの点検が可能な事柄でも、法律で「書面で掲示を！」「フロッピーで提出を (!?)」とされていたり、政省令で「(研修など) 必ず対面で！」「(インフラ点検など) 目視で点検を！」とされていることも多々あります。こうした規制を撤廃して、業務を効率化し、人手不足にも対応できるように、と法改正がなされました。今後の政省令の改正とあわせ、世の中を効率的に、便利にする法案です。

③閣僚会議等へ出席

大臣の代理として、総理官邸で開かれる閣僚会議に参加することもしばしば。政府全体の動きを把握する良き機会となっています。

〈1月～7月の主な会議〉

- ・第6回 物価・賃金・生活総合対策本部 (1月24日)
- ・月例経済報告等に関する関係閣僚会議 (1月25日)
- ・第9回 特定複合観光施設区域整備推進本部 (4月14日)
- ・第1回 こども政策推進会議 (4月18日)
- ・第69回 男女共同参画会議 (4月27日)
- ・第20回 総合海洋政策本部会合 (4月28日)
- ・第1回 AI戦略会議 (5月11日)
- ・第43回 中央防災会議 (5月30日)
- ・第20回 観光立国推進閣僚会議 (5月30日)
- ・第4回 食料安定供給・農林水産業基盤強化本部 (6月2日)
- ・PFI推進会議 (6月2日)
- ・第2回 「我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議」 (6月2日)
- ・第4回 デジタル社会推進会議 (6月6日)
- ・第16回 外国人材の受け入れ・共生に関する関係閣僚会議 (6月9日)
- ・すべての女性が輝く社会づくり本部・男女共同参画推進本部合同会議 (6月13日)
- ・月例経済報告関係閣僚会議 (6月22日、7月26日)



第6回 物価・賃金・生活総合対策本部 (1月24日)



第20回 総合海洋政策本部会合 (4月28日)



第16回 外国人材の受け入れ・共生に関する関係閣僚会議 (6月9日)



月例経済報告関係閣僚会議 (7月26日)

④自民党政策調査会の窓口として

デジタル分野は、急ピッチに展開する分野だけに、党の部会が政策決定をリードすることもしばしば。このため、私も党とデジタル庁との橋渡し役として、党のデジタル社会推進本部及び関連PT (AI・PT、Web3・PT、防災DX・PT等) にできる限り出席してきました。ちなみに、党の部会は、朝の8時、時には、7時半から開催されます。典型的な夜型人間だった私も、かなり朝方になってきました！

〈政策トピックス②〉

ここでは、デジタル庁で、**私が特に重点的に取り組んできた仕事**をご紹介します！

1 自治体 DX（デジタル化）の推進

(1) 自治体 DX 推進と PR 活動

現在、各自治体ごとに行政システムはバラバラです。これを全国で「標準化・統一化」して、全てを一つのデータベース（ガバメントクラウド）上に乗せることにより、

- ①自治体間のデータのやりとりがスムーズになり、行政が大幅に効率化し、
- ②窓口に行く回数や提出書類が減るなど、住民の皆様もより便利になり、
- ③制度改正に伴うシステム改修も全国一律ででき、各自治体の経費も削減できる、こととなります。

この自治体システムの「標準化・統一化」を可能な限り2025 年度末迄に終わることを目指して、現在、全力を挙げています。私も、講演等や全国の首長との意見交換等を通じて、その必要性を度々 PR。この「積年の課題」の解決に全力です！



自治体通信カンファレンスにて講演（1月13日）



書かないワンストップ窓口に係る県内市町担当者との意見交換会（1月13日）



自治体通信カンファレンスにて講演（1月13日）



古巣の知事室で濱田知事とも意見交換（1月13日）



指定都市市長会・指定都市議長会
より要望受け（札幌市長・札幌市
議会議長）（7月26日）



デジ田地方六団体との意見交換会
（6月7日）



関西広域連合長
（滋賀県知事）との面会
（6月6日）



日経新聞自治体 DX セミナーにて講演（6月16日）

（2）書かないワンストップ窓口 DX の推進

「書かないワンストップ窓口」（役場の窓口1ヶ所で申し込めば、引っ越しなどの諸手続きが一週に終了する仕組み）を普及させる取り組みは、自治体 DX のトップランナー。私の特命事項です。デジタル庁では、北見市など先進地から学びつつ、「書かないワンストップ窓口アプリ（窓口 DX SaaS）」を策定して、全国に普及しています。行政効率化、住民の利便性向上を目指して全力です！

2. 準公共分野での DX 化（デジタル化）の推進

公共分野に続いて、準公共分野のデジタル化も重要です。私は、特に子育て、防災分野のデジタル化を担当しています。

子育て分野では、児童福祉や子育て支援に資する情報プラットフォームの構築に向けて、私と「こども家庭庁」の和田副大臣との間で議論をスタートしました。

また、防災分野では、内閣府の開発する「防災プラットフォーム」を土台とした民間のアプリ開発を促しています。昨年 12 月に官民協働の防災 DX 協議会を立ち上げ、この3月には、民間の防災アプリを一覧した「防災 DX サービスマップ」を公表しました。

（防災サービスマップはこちら
らのQR コードから！→）



また昨年来、総務省柘植副大臣のご指導の下、総務省、日本郵政の皆さんと、DX 化による新たな施策展開について検討を重ねました。全国に展開する貴重な郵便局ネットワークを、移住促進、地方創生に生かす施策を検討しています。



デジタル大臣・政務官会見
（防災 DX サービスマップ）（3月10日）

3. AI・データ戦略

昨今話題の Chat GPT はじめ、各種 AI（人工知能）が急速に発達し、そして身近なものとなっています。AI は適切に使えば極めて有用ですが、他方で、間違った情報を伝えたり、情報漏洩の危険があったりと課題もあります。このため、AIに関しどのようなルールを定めるべきか、世界的な議論が巻き起こっています。

他方、そもそも、我が国の国際的なデジタル競争力は低迷しており、AI はじめデジタル分野全般の競争力強化が喫緊の課題です。これは、将来の産業競争力のみならず、安全保障等に関わる課題でもあります。

このため、5月には、党の「AIの進化と実装に関するPT」の提言を踏まえ、有識者、関係大臣をメンバーとした「AI戦略会議」が立ち上がりました。同会議では、今後、

- ①広島サミットで決まった「広島 AI プロセス」に沿った国際指針作り、
- ②我が国の AI 関連施策の充実、

につき検討を深めていきます。デジタル庁も、AI の政府内での活用、データ戦略策定など、議論に活発に参加しています。



河野大臣の代理で私も AI 戦略会議に出席。(8月4日)



党部会には、世界的なプレイヤーも続々と参加。写真は、ChatGPTの開発を行うオープンAIのサム・アルトマンCEOと (4月10日)

(閑話休題) G7 デジタル大臣会合・技術展

G7 デジタル大臣会合 (4月28~30日、群馬県高崎市) には河野大臣、大串副大臣が出席されましたが、「大臣、副大臣、政務官のいずれかは常に在京!」との「在京当番」ルールによって私は東京にてお留守番 (泣)。

しかし、30日の午前中には、当番も解け、牧島前デジタル大臣や同期の皆さんと、デジタル技術展に参加できました。数々の先端的な展示に大いに刺激を受けたところです!



G7 デジタル・技術大臣会合展示視察 (4月30日)



初めて量子コンピュータの実物を見学!

1. マイナンバー制度とマイナンバーカード

＜マイナンバーとは＞

・マイナンバーは国民全員に付されている12桁の番号です。行政の大幅な効率化を目指して、社会保障、税分野等の事務（約100項目、例：扶養控除、確定申告等）で利用されてきました。

・マイナンバーにより、行政機関間で、書類によらずオンラインで情報のやりとりが可能となり、大幅に事務手続が効率化しています（約2500の手続で書類の添付が省略）。



画像：デジタル庁ホームページより引用

＜マイナンバーカードとは＞

- ・また、「顔写真、電子証明書、マイナンバー」を搭載したマイナンバーカードを持つことにより、対面だけでなくオンラインでも、本人確認を行うことができます。これにより各人が、オンラインで各種の手続を行ったり、マイナポータル（政府のサイト）で各種の情報を確認できるようになります。
- ・要するに、マイナンバーカードを入手していただくことによって、マイナンバーによるデータ連携の果実を個人も利用できるようになるのです。

2. なぜ、誤りが生じたのか？

・マイナンバーと各種情報との紐付け作業は、マイナンバーカードが急速に普及する以前の2017年頃から本格的に行われてきましたが、この作業は、デジタルでは全て終わらず、一部は自治体、関係団体の手作業によっています。残念ながら、この手作業の過程で、一部で誤りが生じてしまいました。

・誤りの件数は、例えば保険証とマイナンバーの紐付けについては、紐付け総数1億2000万件に対し、約8400件（全体の0.007%）（8月8日現在）と一部に止まっていますが、たとえ一部でも誤りはあってはいけません。このため、現在、総理の指示を受け、デジタル庁と厚労省、総務省が連携して、信頼回復のための取り組みに全力を挙げています。

（注）コンビニでの住民票の誤交付事案は、交付システムの問題によるものであり、公金受取口座やマイナポイントの紐付け誤りは、マイナポータルでの作業中などに生じたものです。いずれも既にシステム上の対応が行われています。

3. 具体的にはどうするのか？

・デジタル庁では、総務省、厚労省とともに、問題解決に全力を挙げています。私も、問題発覚以降、「マイナンバー情報総点検本部」本部長代理として、大臣、副大臣、幹部によるフォローアップ定例会に連日出席し、対策に当たっています。

・今後、8月8日に、総理の下、総点検本部で取りまとめた「**マイナンバー制度及びマイナンバーカードに関する政策パッケージ**」に基づき、以下の3つの柱に基づいて取り組むこととしています。（続く→）

1) 既存データの総点検によって、誤りを是正

・各団体においてマイナンバーの紐付けが厳格な手順で行われたか否かを調べた上で、課題がある団体において、個別データの総点検を秋までに実施。

(注) 全国1788団体中、332団体で実施（9月6日時点）。

・特に、健康保険証等については、政府において、全数点検も実施。

2) 再発防止策の徹底

・各種申請時にマイナンバーの記載を義務化するとともに、自治体・団体においてより厳格な照会手順を徹底、マイナンバー登録事務の一層のデジタル化を推進。

3) 信頼回復のための取り組みを徹底

・マイナ保険証を取得していない方には、全員に、資格確認書を交付することとし、確実に保険診療を受けられるようにするなど。

4. 何故、マイナ保険証の取得を進めるのか？

・「マイナ保険証を取得しないと、保険診療を受けられないのでは」とのご懸念が一部にあります。決してそういうことはありません。マイナ保険証を持たない方には、申請によらず（保険証の代わりとなる）資格確認書が交付され、引き続き、保険診療が受けられます。

・ただ、マイナ保険証には大きなメリットがあります。則ち、

- 1) 資格確認が一貫してオンラインで可能となり、より効率的になるとともに、
- 2) 医師が各々の特定健診や服薬履歴を本人の同意の上で参照できるようになり、

- ① 皆様がより質の高い医療を受けられるようになるとともに、
- ② 重複投薬等を防いで医療費も節約できるようになります。



画像：デジタル庁ホームページより引用

5. 何故、マイナンバーカードの取得を急いだのか？

・我が国のデジタル化は国際的にも遅れており、コロナ時には「デジタル敗戦」とも言われる状況に陥りました。コロナ給付金の交付のため、役所は書類をひっくり返して大作業に追われ、それでも大変な時間を要しました。感染者情報は全国からファックスで集計され、保健所等の業務を圧迫し、全体像の把握にも時間を要しました。

・人口減少時代に突入し、多くの業界が人手不足に悩む今だからこそ、令和版デジタル行財政改革によって行政をより効率的にしなければなりません。その基盤となるのが、各種のオンライン手続を可能とするマイナンバーカードです。

・今後とも、丁寧な対応に心がけつつ、行政の効率化、個々人の利便性の向上、我が国のデジタル競争力の底上げに向け、マイナンバーカードの普及が必要だと考えます。

2. 自民党政務調査会・議員連盟・勉強会での活動

政務官の仕事の他にも、自民党所属の国会議員として、政務調査会・各部会、議員連盟、勉強会等を通じて、地方創生、防災対策等、各種の政策実現のために活動してきました。

※日々の活動の詳細は、HPの「おざきダイアリー」を是非ご覧ください。(QRコード→)



①インフラ整備・防災対策

引き続き、国土強靱化推進本部など防災関連の部会等にできる限り出席するとともに、内閣府防災や国土交通省各局の皆様と個別に協議を重ねています。

更に、当選同期の国会議員の皆さんに私から呼びかけ、国土交通省・道路局、水管理・国土保全局、港湾局の協力を得て、次世代道路行政勉強会（昨年より）、次世代防災勉強会（6月20日より）、次世代港湾行政勉強会（6月21日より）の3つの勉強会を主催しています。

毎回15名以上の同期生とともに、道路局長、港湾局長、前次官も交えての活発な議論を展開。勉強会として有意義であるとともに、良きネットワーク構築の場ともなっています。



第3回 次世代道路行政勉強会（3月6日）



第1回 次世代港湾行政勉強会（6月21日）



第1回 次世代防災勉強会（6月20日）

②第一次産業の振興

地方創生は私の本務。時間の許す限り、農林部会、水産部会、林政調査会等に出席しています。また、水産政策勉強会（お隣の長谷川議員主催）、林業政策勉強会（昨年より引き続き主催）でも研鑽を積むとともに、CLT 議連の幹事長代理として「木材によるビル建設を進め、木材需要を抜本拡大」しようと全力を挙げています。



第 5 回 水産に係る勉強会（1 月 24 日）



CLT で地方創生を実現する首長連合 第 5 回総会
（8 月 3 日）

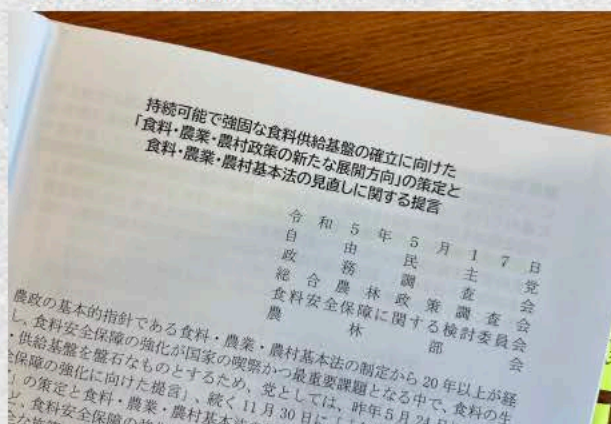


「CLT で地方創生を実現する首長連合」第 5 回総会
（8 月 3 日）

<政策トピックス①>食料安全保障について

食料安全保障の議論は「食料・農業・農村基本法」の改正を視野に入れた、新たな農政の基本方針に関わる重要な議論です。自給率向上のため輸入作物の国内生産の向上、輸入元との関係確保、備蓄の充実などを図るとともに、命に関わる食料生産を支える「農地を守り、担い手を守る」諸施策を充実させようという方向で議論が展開されています。

この議論が、中山間をも視野に入れた、地方創生にも繋がるものとなるよう、私も、田舎の代表としてしっかりと議論に参加していきたいと考えています。



食料安全保障に関する提言書（5月17日）

③ 社会保障分野

1. 党政調での活動

同分野では、雇用問題調査会、少子化対策調査会役員会に参加し、「異次元の少子化対策」についても、知事時代の経験を踏まえて政策提案を行いました。

2. 次世代ライフサイエンス・イノベーション議連での活動

医療費抑制のために薬価の低減策が連年講じられていますが、弊害も生じています。則ち、先々の薬価が見通せないため新薬の開発等が滞り、海外で使われている新薬の約7割が日本では未使用となるとともに、後発医薬品の安定供給にも支障が出始めています。いわば、有用な薬を使えない、という大きな国民負担が生じてきています。

私が事務局長を務める同議連では、1月以降精力的にヒアリング、検討を重ね、5月には「国民の医薬品アクセス確保のため、新薬の創出を後押しし、後発医薬品の過当競争を防止するよう、薬価制度の改正を検討すべき」旨の提言書を取りまとめ、加藤厚労大臣に提出しました。医療費の抑制と国民の医薬品アクセスがしっかりと両立するよう、今後とも検討を重ねて参ります。

議連提言書→



次世代ライフサイエンス・イノベーション議員連盟 加藤厚生労働大臣への申入れ (5月9日)



次世代ライフサイエンス・イノベーション議員連盟 (4月14日)

④ 中小企業政策

中小企業政策についても「次世代・地域の中小企業支援議員連盟」事務局長代理として議論を重ねています。地域の商工会議所、商工会は、地域企業の経営支援に大きな役割を果たしていますが、近年、人口減少等により体制が脆弱になってきています。議連では、「地域の商工会議所、商工会への支援策を充実させ、地域企業への支援を強化すべき」との議論を展開。

6月には、提言書を策定し、中小企業庁長官他に申し入れを行いました。



議連提言書↑

⑤外交・安全保障施策の充実に向けて

我が国を取り巻く安全保障環境は厳しさを増しています。昨年末には、国家安全保障戦略をはじめとした「戦略三文書」が見直されるなど、外交・防衛体制の充実・強化に向けた検討が急ピッチで進められています。

私も、かつて、アジア通貨危機の大混乱の最中にインドネシアで外交官として勤務し、また、海上保安庁や安保関連の予算編成に携わるなど、外交・安保に関わる仕事をしていました。知事時代12年間は遠ざかっていましたが、外交・安保は、国会議員として、国民の生命と財産を守るために極めて重要な分野です。このため、12年のブランクを克服すべく、現在、関係の部会に時間の許す限り出席するとともに、有志の議員の皆さんとの勉強会に参加するなど、日々、全速力で外交・安全保障の勉強を重ねています。

〈政策トピックス②〉台湾シミュレーションに参加

7月15、16日には、シンクタンク「日本戦略研究フォーラム」主催の台湾有事政策シミュレーションに、財務大臣役（15日）、官房副長官役（16日）として参加させていただきました。懸念が高まる台湾有事に備えて日本政府としてどうすべきか、外交・安保全般、特に、財政・金融政策、戦略コミュニケーションの観点から学び、考えさせられる良い機会となりました。



日本戦略研究フォーラム主催 第3回 台湾有事政策シミュレーション。小野寺先生（総理役）、長島先生（官房長官役）と（7月15、16日）

〈政策トピックス②〉 議員外交デビュー

6月26～28日にはインドネシアへ出張。国会副議長や党代表など3組の与党議員団や現地スタートアップ、財閥経営者との意見交換、現地日本人会との懇談、英雄墓地献花、現地大使・経済界、JETRO 事務所との意見交換、ODA 案件視察等、実質2日間と限られた時間でしたが、精力的に関係構築、意見交換を図ってきました。外交は、事務的な交渉の積み上げのみならず、政治のリーダーシップが物を言う分野だけに、議員間の関係づくりは極めて重要です。インドネシアはかつての任地。「昔取った杵柄」を活かし、関係構築にしっかり取り組みます。



インドネシア、ロウディック国会副議長を訪問（6月27日）



インドネシア、スタートアップの皆様との懇談会（6月27日）



インドネシア、ゴーベル国会副議長を訪問（6月28日）



インドネシア、プティ議連会長を訪問（6月27日）



紀谷駐ASEAN大使との懇談会（6月28日）



カリバタ英雄墓地を訪問（6月28日）

3. 党務にも引き続き参加

私は昨年8月まで、党組織運動本部（小淵優子本部長）で、党本部と地方組織のつなぎ役となる「地方組織・議員総局長」として働いていました。

当時、総局長として設立に携わったのが、党本部と地方組織の連携強化を目的とした「地方議員センター」です。



「地方議員センター」看板設置の様子（2022年6月16日）

7月には、同センター主催で「都道府県議会議員初当選研修会」（7月19日）が開催され、私も「二代表制における議員と首長」と題するパネルディスカッションに参加しました。私からは、知事時代の経験を基に「厳しい地方では、知事は既存の延長線に留まらず様々なチャレンジする必要がある。住民の意見を基に、何にチャレンジすべきか知事に意見し、緊張感を持ってPDCAサイクルを住民と共に回し、そして一緒に挑戦して行って欲しい」旨をお話しました。



地方議員センター 都道府県議会議員 初当選研修会 パネルディスカッション（7月19日）

4. 県勢浮揚に向けて

①県、県内市町村の政策要望をしっかり後押し！

1. 県内市町村の特別交付税要望をしっかり後押し！

地元選出の国会議員として、市町村の特別交付税要望の後押しは重要です。地元の声を国政に届けるべく、1、2月には特に力を入れました。

市長さん達と、尾身副大臣、総務省幹部への要望活動にご一緒し、何故これだけ必要かしっかりご説明するとともに、2月8日には、党の政調でご指導いただいた松本総務大臣のもとに、中谷先生、山崎先生とともに最後の要望活動に伺いました。



高知県選出国会議員による松本剛明総務大臣への特別交付税要望の様子（2月8日）



おかげ様で高知2区の全市において前年を上回る特別交付税額を確保でき、内心ホッとしたところです。

宿毛市、土佐清水市、四万十市から総務省への特別交付税要望に同行（1月18日）

2. 県、市町村要望をしっかりと国へ！

数々の県、市町村の政策提言を如何に国に届けるか！これは、代議士として重要な仕事です。私も、各省大臣や局長への県、市町村の要望活動にしばしば同行し、後々のフォローを行うなど、高知の声をしっかりと東京に繋ぐべく努力しています。



四国横断西部建設促進期成会による国土交通省道路局長への要望に同行の様子（8月9日）



土佐市から尾身朝子総務副大臣への特別交付税要望に同行の様子（2月1日）

②県政ともしっかり連携

国への重要要望に関し、関係者の連携を強化する一環として、今年度から新たな枠組みを立ち上げることとなりました。

3月には、2区内市町村長と私から濱田知事に対し重要要望（8の字ルート、仁淀川改修など）を行うとともに、4月には、高知県から国への重要要望について、濱田知事と県選出国会議員とで意見交換する機会を設けることとなりました。

国県市町村の連携は極めて重要です。今後もこうした場をしっかりと設けて参ります。



令和6年度予算等に向けた政策提言項目に係る高知県知事との意見交換会（4月28日）

③県内の防災対策の推進

(1) 防災対策の推進は、私のライフワーク。浦戸湾の三重防護の推進、仁淀川の治水対策の推進、8の字ルートの整備促進など、市町村長とともに、国の担当者との意見交換を数々重ねてまいりました。



仁淀川・日下川改修期成同盟会より要望受けの様子（2月17日）



国交省（港湾局）、県と浦戸湾三重防護策について協議（2月22日）



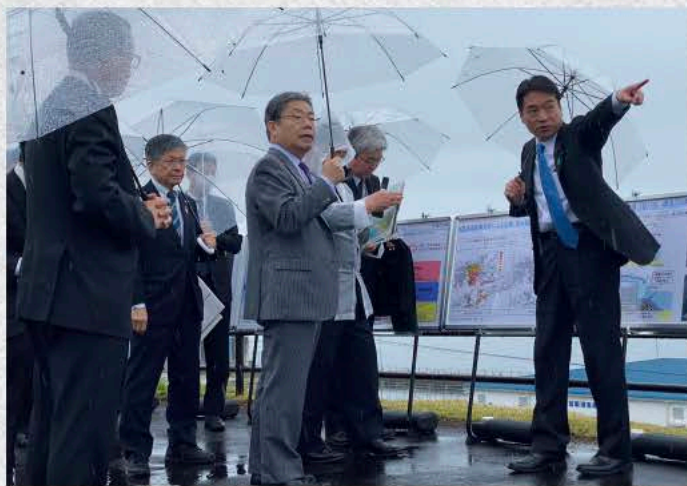
浦戸湾の三重防護事業は加速しています！



宿毛内海道路整備促進シンポジウムの様子（5月27日）

(2) 4月には谷公一防災大臣の高知視察

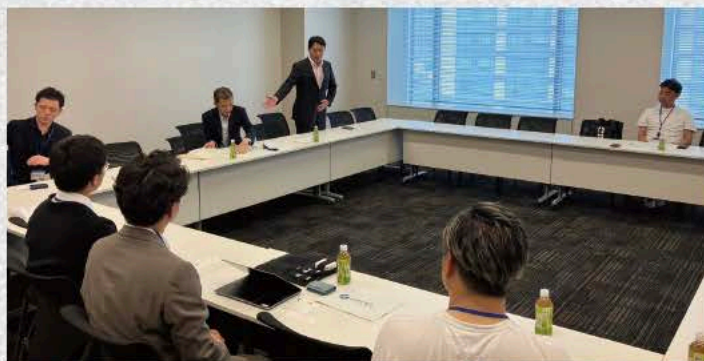
も実現。津波対策の要所である、浦戸湾三重防護事業や黒潮町の津波対策等、をご視察いただきました。同行された国の担当者共々、高知の防災上の課題を把握していただく良ききっかけとなりました。



雨の中、高知新港の高台より、浦戸湾口の堤防建設予定地について谷大臣にご説明（4月15日）

④東京でも各種の勉強会を開催

高知の皆さんのご要望に応じて、東京でも各種の研修等を実施。6月には高知のスタートアップの皆さんと経産省担当者との勉強会を、また、7月には、四万十市議団、市役所職員の皆さんと、デジタル庁や地方創生事務局との勉強会を開催しました。



高知イノベーションベース運営委員と経済産業省との勉強会の様子（6月14日）



デジタル庁にて四万十市議・職員との勉強会の様子（7月5日）



地方創生事務局と四万十市議・職員との勉強会の様子（7月5日）

5. 選挙の度に街頭へ！ 民主主義の原点

各級の選挙は、政治の考えをお伝えし、頂いた民意を政治に反映する、まさに民主主義の原点となる機会です。私も選挙の度に街頭に出て、皆様に熱くお訴えしました！

①統一地方選の応援

4月9日執行の県議選、23日執行の高知市議選に向けて、1月半ば以降、自民党公認・推薦候補予定者の政治活動の応援に力を入れました。告示日以降も、県議選では公認候補7人の選挙カーに乗り込んでマイクを握り、市議選では、依頼を受けた候補予定者の集会等にお伺いするなど、時間の制約のある中で可能な限り応援に回りました。

東京での仕事も忙しく、東京・高知を日帰りで移動したこともしばしば。ま

た、特に激戦となった幡多地域では、週末泊込みで何度も応援に伺いました！

おかげさまで、県議選は高知2区の現職・後継の公認候補（9人）は全員当選。ただ、土佐清水の新人候補は残念な結果となりました。また、高知市議選では自民党公認・推薦候補は全員当選（12人）することができました。

選挙戦を通じて賜った有権者の皆様の声は本当に貴重なもの。そのお声を大事にして、今後の活動に活かしてまいります。

②秋に向けて～大型選挙が目白押し！～

1. 参議院補欠選挙に向けて

自民党高知県連では現職の辞職を受けた参院補選に向け、「公開討論会」によって新たな高知の代表者を「西内健県議」に決定しました。マスコミも入れたフルオープンでの「公開討論会」によることとしたのは、ひとえにこの度の不祥事を反省し、候補者選定を厳格に行おうという思いからです。今後、秋の参議院補欠選挙に向けて、全力で政治活動を展開してまいります。



参院補選自民党高知県連代表選公開討論会と投票会の様子（8月5日）



自民党高知県連大会（6月11日）

2. 高知県知事選挙、高知市長選挙

濱田知事、桑名龍吾氏の更なる活躍に向けて、私も全力をあげてまいります！



桑名龍吾さんと街頭演説 (7月21日)

6. 週末は皆様の元へ！

県民の皆様との対話こそ、私の政治活動の原点です。残念ながら大臣政務官として、災害などの緊急事態に備え、週末もほぼ2週間に1回は在京しなければなりません。帰高できる時は、寸暇を惜しんで皆様の元にお伺いするよう努めています。



土佐緑友会新年名刺交換会 (1月4日) 高知県建設産業団体連合会新年懇談会 (1月4日)

高知商工会議所新年祝賀会 (1月4日)



防衛協力団体新年互礼会 (1月15日) 日高村役場新庁舎落成式 (1月29日)

秋葉祭り (2月11日)



建国記念の日をお祝する高知県民の集い (2月11日) 中谷元衆議院議員国政報告会 (2月18日)

○林業分野の意見交換会（1月14日）

地方創生の推進に向けて、林業の振興は極めて重要な課題です。1月には木材産業政治連盟の皆様他とじっくりと意見交換を行いました。頂いたご意見は全て、林野庁の担当課長へ。引き続き、協議を続けていきます。



高知商工会議所木材部会との意見交換会（1月14日）



高知県木材産業政治連盟との意見交換会（1月14日）

○「らんまん」効果に期待！

東京・高知と飛行機で行き来する度に「らんまん」効果を感じています。県外からの観光客のおかげで満席近いこともしばしば！嬉しい限りです！



牧野博士の新休日開幕セレモニー（3月25日）



6月25日 佐川の道の駅には連日多くのお客さんが！



○この他にも様々な式典にも可能な限り出席。更に、寸暇を惜しんで地域にお伺いし、様々なご意見を伺っています！



中平宿毛市長市政報告会（3月17日）



高知県板金工業組合総会懇親会（4月23日）



牧野富太郎博士生誕祭（4月23日）



第9回長宗我部祭り (5月14日)



津野町にてご挨拶回り (7月25日)



デジタル庁にて高知の皆様との懇談 (6月20日)



須崎商工会議所青年部設立四十周年記念式典・祝賀会 (6月17日)



宿毛市にてご挨拶回り (7月3日)



桑名龍吾と新しい高知市を語る会 (7月6日)



土佐市にて支援者の皆様との懇談 (7月31日)



よさこい競演場を訪問 (8月10,11日)
4年ぶりの『よさこい』！競演場でのメダルかけも4年ぶり！まさに高知の夏です！

ご紹介



【Facebook】



【Twitter】



<https://twitter.com/masaozaki>

各種 SNS も更新中！

